

令和元年9月5日開会

令和元年第3回東松島市議会定例会

議員総括質疑通告書

東松島市議会

議員総括質疑 目次

令和元年第3回定例会

順位	会派名 議員氏名	件名	頁
第1位	松桜会 小野 幸男	1 平成30年度の決算の総括について	2、3
		2 平成30年度の決算審査意見書の所見を伺う	
第2位	市民クラブ 石森 晃寿	1 平成30年度渥美市政の決算を問う	4
第3位	清風・公明 上田 勉	1 マニフェストの完成度について	5、6
第4位	清新会 阿部 勝徳	1 平成30年度決算の事業総括について	7

氏名	質疑事項	要 旨
<p data-bbox="177 315 276 353"><u>第1位</u></p> <p data-bbox="209 416 244 551">松 桜 会</p> <p data-bbox="209 618 244 701">小 野</p> <p data-bbox="209 763 244 846">幸 男</p>	<p data-bbox="312 315 549 432">1.平成30年度の決算の総括について</p> <p data-bbox="312 1805 549 1966">2.平成30年度の決算審査意見書の所見を伺う</p>	<p data-bbox="580 315 1410 600">今回の決算は、市長就任後の第1回目の予算執行した決算でもある。復旧・復興の完結も残すところ後1年半に迫り、本市の将来に向けた地方創生の実現または早期完結に向け鋭意努力し、財源の確保や経費削減を図り、健全財政に取り組んでいることと思う。市長の掲げた7つのマニフェストからの決算について、総括的に会派松桜会を代表して以下の点を伺う。</p> <p data-bbox="596 651 1410 936">(1) 創造的復興の目玉でもあり、人口減少または人口維持対策と地域活性化の起爆剤になる、全寮制の私立高等学校に整備事業補助金を支出しているが、その進捗と状況を伺う。また、トップセールスに努め、企業立地優遇制度を拡充した成果で、立地企業の事業計画での約240人の雇用創出は、主に市内の人材登用が優先的に図られるのか状況について伺う。</p> <p data-bbox="596 987 1410 1182">(2) 農業・漁業生産法人の担い手育成は確立されているか、また外国人就労者の受け入れも視野に窓口の開設の考えとカキの水揚げが前年より8千万円増とあるが、ここ数年水揚げは低調傾向であると思うが、どう把握されているか。</p> <p data-bbox="596 1234 1410 1350">(3) 認知症初期集中支援チームによる支援体制の成果と、100歳体操やパークゴルフ以外に健康保持増進の取り組みの成果について伺う。</p> <p data-bbox="596 1402 1410 1597">(4) 国・県を含め、市長のあらゆるパイプとネットワークを活かした取り組みによるSDGsの将来に向けた地方創生の実現を図る取り組みの成果について伺う。また、今後の財源確保策と経費の縮減とあるが主な成果は。</p> <p data-bbox="1043 1686 1410 1720" style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p> <p data-bbox="580 1805 1410 2011">平成28年度から下水道の普及啓発活動が認められ、国土交通省主管の「循環のみち下水道賞(広報・教育部門)」に内定し、9月に大臣表彰を受ける予定である。また、現在まで立地企業22社の雇用計画書上では501人が雇用予定であり、監査審査意見書において歳入歳出の決算に</p>

氏 名	質疑事項	要 旨
		<p>関わる事項はおおむね達成されたとの評価でもあり、職員の努力にも敬意を表する。また、市長自身も財政担当の経験もあり、常に数字との格闘の表れも垣間見えるが、市民の皆さんの絶え間ない努力の表れであることも肝に銘じ、住民サービスに努めていただくことも申し合わせ、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 前年度比 1 8 億 1 , 5 6 4 万 3 千円の大減となった地方交付税であるが、特に普通交付税については、合併から 1 0 年間の特例期間の終了により配分率が見直される。さらに、平成 2 8 年度から 5 年間で段階的見直しが行われ、令和 3 年度から本来の算定率に縮減される普通交付税の減少への対策について伺う。</p> <p>(2) 人件費の増高は、経常収支比率の上昇(減退)にも現れた。令和 2 年 4 月以降は、会計年度任用職員制度により、人件費の大幅増になることから、国の動向次第でもあるが対応策について伺う。</p> <p>(3) 総務課人事班の構造的問題の解消に、「令和 2 年度からシステムを導入予定だが、人事班は支援機関に徹することが望ましい」と審査意見が付されているが市長の考えを伺う。</p> <p>(4) 納税義務者が昨年度比 3 2 0 人増の総所得額 1 9 億円余の伸びを記録する好結果となった。その一番の要因は何か伺う。平成 3 0 年度市内に 1 8 事業所が増加したが、税金につながらなかった要因をどう分析し税金増を図るのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	質疑事項	要旨
<p>第2位</p> <p>市民クラブ</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>1.平成30年度渥美市政の決算を問う</p>	<p>市長は、平成29年4月の市長選挙の際、7つの選挙公約を掲げ当選し市長に就任した。昨年度の決算の成果は、阿部市長からの承継で、市長が思い描いているマニフェストに沿った政策は、十分ではなかったのかと推察する。</p> <p>平成30年度の決算の成果は、市長のマニフェストに沿った決算となり、政策が十二分に反映されていると思うが、以下の点について伺う。</p> <p>(1)復興交付金事業計画全体に対する平成30年度の執行率は、83.4パーセントとなっている。私は、進み過ぎと感じるが、市長はどのように感じているか。また、復興事業を検証しているのか。</p> <p>(2)企業誘致は、8社との立地協定締結となっている。8社全てが企業進出して来るのか。また、画地に見合う、企業誘致を考えているのか。</p> <p>(3)学力向上対策として、学校教育におけるICT環境の充実・整備を図るため矢本西、大曲、赤井、大塩の小学校に電子黒板等を導入したが、学力向上の一助になったのか。また、夏休みを5日間短縮し、学習時間を増やしたが、成果はあったのか。</p> <p>(4)実質公債費比率は、前年度の決算説明資料によれば、平成29年度で3カ年平均8.50%であり、平成30年度は6.6%となっている。大幅に下がっているがその要因は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長・教育長】</p>

氏名	質疑事項	要旨
<p>第3位</p> <p>清風・公明</p> <p>上田</p> <p>勉</p>	<p>1. マニフェストの完成度について</p>	<p>平成30年度の予算執行の主な成果について説明を受けたが、清風・公明を代表して次の点について伺う。</p> <p>1 マニフェストについて</p> <p>(1) 復興事業について 予算執行率83.4%とあるが、復興交付金事業計画全体の完成度は、どうであったか。 一般会計決算では、復興事業の減と説明しているが、復興の加速と完結の公約から見て、この予算執行の出来高は満足する値か。また、執行の過程において取り残したものはあるか。</p> <p>(2) 観光事業について 観光事業において、昨年の宮城オルレ奥松島コースの開始に当たり、各種問題点が出されていたが、年度内および今年度への是正対策の完成度は、どうであったか。</p> <p>(3) 福祉の充実、健康保持推進、医療体制確保等について 認知症施策や関連支援体制への事業拡大については、逐次職員一丸となって進められたとみるが、「かなめ」である地域包括支援センター2カ所体制は、現在のところ種々の問題を抱えながらも今後の運営に期待するところ大である。 いずれのセンターも、事業内容の拡大や市民ニーズの多様化などから、人員不足や内容充実のための課題について、事業主の努力では困難な状況も見受けられる。 国や県に対するもの、市独自で解決できるもの、周辺自治体や関係諸機関等の連携・協力の必要があるものなど、いずれも予算的措置が必要とされるが、2カ所体制の課題について伺う。</p> <p>(4) 学力向上・スポーツ振興について 学力向上策については、夏休み5日間短縮の成果が全く出ていないように思われる。家庭でのスマホの利用を最大の問題のように指摘する人がいるが、各学校で学力向上のために、特化しての対策がとられているか疑問である。 各学校の独自性ある向上策のうち、平成30年度の成果について伺う。</p>

スポーツ振興に当たっては、「奥松島運動公園の復旧工事の着手とあるが、市民の集える場所としてのみならず、周辺自治体や広く県民も利用できる質の高いものとする必要がある。

基本設計における市長の考えを伺う。

(5) 仙石線や国・県施設の利用関連について

特に、駅前道路を含む基地周辺の環境整備の進捗および仙石線の利便性確保に向けての成果について伺う。

(6) SDGsの予算執行状況について

福祉・医療・介護関連で予算措置がなされた事業の成果について伺う。

2 予算執行について

(1) 土木費等について

復興予算関連の生活環境や教育環境整備にかかる執行の完成度と課題について伺う。

(2) 福祉関係について

福祉事業における医療・福祉・介護等に関連する事業の完成度と課題について伺う。

【答弁を求める者 市長】

氏名	質疑事項	要旨
<p>第4位</p> <p>清新会</p> <p>阿部勝徳</p>	<p>1.平成30年度決算の事業総括について</p>	<p>平成30年度予算は、市長就任後初めての予算編成ということで、市長マニフェストを重点施策とし、かつ、第2次総合計画および復興まちづくり計画に沿った事業が設定され、適切に執行されてきたことは、決算説明および監査委員の審査意見書においても示されている。</p> <p>以下の点について伺う。</p> <p>(1) 事務事業別決算の執行率を目的達成の尺度として捉え、平成30年度全体執行率が94.33%で監査委員からも事業目的はおおむね達したと高評価を受けたが、そのことに関する見解は。</p> <p>(2) 審査意見書の特筆すべき事項として、納税義務者が対前年度比で320人増加し、総所得額は19億円余の伸びを記録する好結果となったとしているが、見解と次年度以降の予想は。</p> <p>(3) 人口減少対策の一つとされる企業誘致について、市長のトップセールスや県への職員派遣、企業立地優遇制度の拡充など、その意気込みが感じられ、結果8社との立地協定の締結、240人の雇用創出が図られることとなったことは、大いに評価できる。決算を終え、さらなる企業誘致の推進のための課題は。</p> <p>(4) 市長マニフェストの一つでもある、子育て支援の拡充と女性が活躍できる東松島市の実現について、決算を踏まえた成果についてどう捉えているか。</p> <p>(5) 平成30年度末現在の復興交付金事業の進捗率は83.4%となっており、令和2年度末までの復興事業の完結を目指し、市長はロングラストサポートをかけていることを表明しているが見通しは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>